

# 篠川事務所の”ホット”通信

2017年4月号

税理士・中小企業診断士 篠川徹太郎事務所

〒226-0003

神奈川県横浜市緑区鴨居 3-1-9-201

電話：045-530-3727 F A X：045-530-3728

<http://shinokawa-office.com>

[mail@shinokawa-office.com](mailto:mail@shinokawa-office.com)



ホットな話題をほっとするような分かりやすさでお伝えする“ホット”通信・・・Vol.32をお届けします。

鴨居に春の訪れを告げる桜まつりも終了し、桜も散り始めました。この季節は昔から三寒四温といって寒暖の差が大きく体調を崩しやすい季節です。体調に留意して新年度のスタートを切りましょう！

## 【相続税は一部の富裕層だけのもの?】

平成二十五年度の税制改正により、平成二十七年以後に亡くなられた人から相続税の基礎控除額が引き下げられました。これにより相続税の課税対象となった被相続人の割合が、前年の平成二十六年分に比べて3.6%増加したということが国税庁の平成二十八年十二月の発表で分かりました。発表によると平成二十七年中(平成二十七年一月一日～平成二十七年十二月三十一日)に亡くなられた人は全国で約129万人(平成二十六年は約127.3万人)でした。このうち相続税の課税対象となった被相続人は約10.3万人(平成二十六年は約5.6万人)で、課税割合は8%(平成二十六年は4.4%)と前年に比べて2倍近くも増加しました。近年の相続税の課税割合は4%程度を推移していましたが、今回の基礎控除額の引き下げによって大幅に増えたことが分かります。相続税の課税価格の合計は約14.6兆円で、被相続人一人当たりになると約1.4億円となつています。またこれによる相続税の納税額は約1.8兆円で、一人当たりでは1758万円になります。相続財産の金額の構成比は土地が一番多く38%で、その他は現金・預金等が30.7%、有価証券14.9%、家屋5.3%、その他11.0%となっています。平成二十五年度の税制改正によって課税の対象となる人が増えた現在では、「相続税は一部の富裕層だけのもの」という考えは見直す必要がありそうです。



## 【鉄道の高架下が可能性を広げています!】

倉庫や駐車場などにとどまっていた鉄道の高架下が様変わりしています。昨年11月にオープンした「中目黒高架下」は約700メートルに渡ってセンスの良いアパレルや飲食店などが軒を連ね、脚光を浴びています。鉄道会社が手掛ける同様の商業施設は景観をいかした改装とこだわり専門店の集合体が特長で、首都圏のみならず関西でもにぎわいを見せています。その利便性から託児所や図書館など公共施設への展開もあり、かつてのデッドスペースは可能性を広げています。



## 【今月の教えてキーワード：北米自由貿易協定（NAFTA）】

アメリカ、カナダ、メキシコの3カ国が締結した自由貿易の協定のこと。1994年1月に発効した。関税やサービス、投資などの流れに対する障壁を段階的に撤廃し、知的財産権保護ルールの共通化なども図ってきた。自動車メーカーなどは3カ国をまたいだ生産体制を整備し、米国企業では人件費の安いメキシコに生産拠点を移すきっかけとなった。対メキシコ貿易赤字が増加したことを受け、米国では再交渉を求める声も出ている。

### 【成功の秘訣は「最後まであきらめろ！」】

最後まであきらめろな——。これは成功者の決まり文句です。あきらめずにやり続ければ誰でも成功する。しかし、あきらめてしまったらそこで終わり。それまでの努力は水の泡。あきらめるのは弱い人間のすることだ。世間にはそんな風潮がありますが、本当に「あきらめる」ことは悪いことなのでしょうか。

そもそも「あきらめる」には2つの漢字があります。一般的に「あきらめる」といえば「諦める」と書き、その意味は「希望や見込みがないと思って断念する」ですが、実は「諦める」の語源は「明らめる」だそうです。

「明らめる」とは事情や理由を明らかにすること。つまり「諦める」は「明らかに極める」から来ているのです。まずは事実や理由をはっきり認識して（明らめる）、その上で状況に合っていなければ断念する（諦める）。この流れが本来の「あきらめる」という行動なのでしょう。「最後まで諦めるな」ではなく「最後まで明らめろ」であれば、まさしく成功の条件だろうと思います。

うまくいかないことに固執するとおおむね失敗します。そこで諦めて次のチャレンジに目が向かないのは「明らめて」いないからでしょう。明らめるとは「受け入れる」ことでもあります。うまくいかない理由を冷静に分析して受け入れなければ、何度も同じことでつまづくのは自明の理。的確な判断は理由を分析して状況を把握することで成し得ます。

どう考えても無理だと「明らめ」たら、すみやかに「諦める」。引き際は企業の存続を左右する非常に重要な判断です。明らめるには「心を明るく楽しくして気持ちを晴れやかにする」という意味もあります。壁にぶち当たったとき、その壁を乗り越えようとする自分を楽しめているかどうか。楽しめていないなら「明らめて」いないのかもしれない。

諦めるのが悪いわけではなく、明らめずに諦める夢の途中の行動こそが、それまでの努力を水の泡にしてしまう「もったいない」行為だというわけでしょう。



# 人生にはきつと 抜け路がある

今を生きる！

## 先人の言葉

日本の小説家でありハンセン病で隔離生活之余儀なくされていた北条民雄の言葉。北条氏いわく「生きる望みさえ失わなければ、そこからきつと抜け出せる」と。

### 【ビブリア古書堂の事件手帖7】

北鎌倉の古書店を舞台にしたベストセラー完結編です。少し生きづらさを抱えた若き女店主と読書が苦手な若者の人間関係が古書をめぐる物語と絡み合い成長してゆきます。ちなみに、主人公の名前は篠川さん、ちょっと変わった名前ですね（\_）

